

事業名	U32 Young Officials Camp 2016	開催地	国立代々木競技場第1体育館 会議室
報告者名	大山 賢史	派遣期間	平成29年1月7日(土)～9日(月・祝)
講師	講師:阿部哲也、宇田川貴生、片寄達、平育雄、安西郷史 JBA:上田篤拓、岩田千奈美、高森英樹 敬称略		
受講生	JBA推薦 小田中涼子、富樫彰子、尾形美樹、細田知宏、漆間大吾		
	<p>北海道ブロック:政氏拓留</p> <p>東北ブロック:中道凌平、石垣千彩、土門亮太</p> <p>関東ブロック:秋葉智、眞榮喜工、大川尚、穂川苑子、武田理輝、青木太一、荻野健</p> <p>東京ブロック:東條輝正、上杉侑里子、管祐介、岩井遥河</p> <p>ブロック推薦 北信越ブロック:早川貴章、名取駿</p> <p>東海ブロック:野々村日希、井出啓太</p> <p>近畿ブロック:高野杏実、幡丸登志久</p> <p>中国ブロック:豊田康平、柳田雅人</p> <p>九州ブロック:砂川卓嗣 敬称略</p>		
1月7日(土)			
講義①	14:00～	審判「早期育成」について・・・平育雄氏 「ガイドライン」解説・・・宇田川貴生氏、安西郷史氏 AJ女子準決勝観戦	
講義②	17:00～	3POメカニクス・・・上田篤拓氏 ・はじめに、平氏より本研修の説明、国際審判員になるために必要なことや国際審判員のあり方についてお話を頂きました。資格取得へ向けて、語学力の向上(特に英語)や体格の改善(特に細身、小柄な審判員のビルドアップ)、コミュニケーション能力等の必要性について具体的な話もありました。その中でも、S級ライセンスの取得について、各々のライセンスのトップの割り当てをもらうことが必要であると再確認することができました。 ・続いて、宇田川氏より「ガイドライン」についてのお話を頂きました。「なんとなく」といった感覚で判定するのではなく、なぜファールなのかを言葉で説明できることが大切であり、ファールを適応する際の共通認識として今回のガイドラインはとても勉強になりました。今後身につけられるようにすぐに取り組みたいと思います。 ・女子準決勝の観戦終了後にガイドラインに沿った意見交換と3POの基本的なメカニクスの確認を行いました。選手のAction(しかけ)から何が起きているのか見ることが大切であり、そこを長く見ることが出来るところが、やはり3POのメリットでもありました。3POではリードのローテーションのタイミングは重要であり、そこが難しさでもありました。	

1月8日(日)

聴講 9:15～ FADP国際審判研修講義 聴講

12:00～ AJ男子準決勝観戦

講義③ 15:00～ 映像研修・・・片寄達氏、上田篤拓氏、AJ男子準決勝担当審判員

17:00～ 観戦 AJ女子決勝

・内海知秀女子日本代表ヘッドコーチにリオ五輪の前後のチームの様子、世界と日本の選手はもちろん、審判員の判定の違いなど多くの貴重な話を頂きました。どういったプレーがリオ五輪では判定されていたのかクリップを見ながら確認をし、国際審判員と意見交換をしました。特に話題となったのが、スクリーンに係る攻守両者のプレーで、私自身も日頃から判定に悩んでいるところであり、とても興味深いものでした。

・AJ男子準決勝の観戦終了後、担当審判員と一緒に映像を見ながらの分析を行いました。今回レアケースとして、第3ピリオドにアンスポがあり、フリースローシューターのミスがありました。結果フリースローもボールポジションもキャンセルとなっしまい、該当チームのコーチは感情を露わにしていました。しかし、その後も判定をきちんと積み重ねていき、今までどおりのゲームに戻っていた審判員の様子に、非常にメンタルの強さを感じました。改めて、審判としてルール通り最後までゲームを進めていくことの大切さを実感しました。

1月9日(日)

講義④ 10:00～ 映像・語学・・・上田篤拓氏

クリップを見て、英語でそれらを書いて説明

2人ペアになり、お互い3分間の英語での自己紹介

講義⑤ 10:30～ 映像・プレイコーリング・・・宇田川貴生氏、片寄達氏、上田篤拓氏

・2つの映像を見てそれらを英語で説明、また講習生同士2人ペアとなり英語での自己紹介を行いました。バスケットボールの話は当然することになるが、コート外での会話とても大切である。その中で、自分のキートピックスとなるのはどのような話題なのか、会話のイニシアチブをとれるような話題は何なのか、とても考えさせられる内容でした。

・片寄氏からプレゲームカンファレンスの際に用いているパワポの資料を基にお話を頂きました。プレイヤーの特徴、キープレイヤーの把握、得点が多い選手、チームへの貢献度が高い選手、前節の試合の様子など、クルーチーフとしてゲームの全てを把握出来るように準備されていました。その後の男子決勝戦でもゲームのスムーズな運営の様子を見て、ゲーム前の準備の大切さをよく感じる事ができました。

・最後に、6つのクリップ映像を見て「ガイドライン」に沿って、なぜファウルなのかというところを説明できるように講習生と講師で意見交換を行いました。

U32 Young Officials Camp 2016に参加して

今回の研修では、国際審判員への道筋や「判定」について、なぜそのような判定なのかというところをガイドラインに沿って理論的に学ぶことができました。また映像の分析についても、どの部分をどのように見れば良いのかを知ることができ、ただ映像を見るのではなく、その現象が起きた場面、その前後のプレー、ボールの状態、ショットがあったのかどうかなど、どの部分に目を当てるのがよいのかなど具体的に学ぶことができました。現役の国際審判員の取り組みやクルーチーフとしてのあり方、日本代表ヘッドコーチのリオ五輪を経験されたお話など世界のバスケットボールを知る貴重な機会となりました。

今回の研修にあたり、日本バスケットボール協会の皆様、推薦いただきました渡邊整関東ブロック長、渡邊諭栃木県審判長、貴重なお話を頂きました講師の皆様、本当に多くの方のご協力のおかげで、この研修を受講できましたことを心より感謝申し上げます。今回の経験から、審判技術の向上はもちろんですが、一人の人間としてより成長していこうと強く感じました。本研修で学んだ事を県内、関東ブロック、全国の審判員と共有し、S級、FIBAライセンスの取得に向けて全力を尽くしていく所存であります。